

令和 7 年 5 月 31 日

「令和 7 年度（2025 年度）協会活動を進めるにあたって」

理事長 石川 敏光

令和 7 年度は、仙台市太白区バレーボール協会（以下、当会）の新たな体制の 2 期目となります。新たに 3 名の役員を迎え、心新たにスタートを切ることとなりました。これまで培ってきた成果を大切に継承しつつ、さらに発展させられるよう、役員一丸となって協会運営・大会運営に取り組んでまいります。引き続き、ご支援ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。第 1 回理事会の開催にあたり、昨年度の活動の振り返りと、今年度の活動方針についてご報告いたします。

《昨年度の振り返り》

協会運営においては、会計監査に始まり、理事会（年 4 回）、代表者会議後の打合せ（2 回）を実施し、活発な意見交換を通じて有意義な活動が展開できました。これもひとえに、役員の皆様の真摯なご協力の賜物であり、心より感謝申し上げます。

大会運営については、当協会の二大会である「第 14 回仙台市太白区民バレーボール祭」および「第 8 回バレーボール選手権大会」において、多くのチームのご参加をいただき、無事に開催できたことを大変嬉しく思っております。また、佐藤 あり紗アドバイザーによる「第 1 回バレーボール教室」を初の試みとして実施し、小学生バレーボールの裾野拡大にも寄与できたのではないかと考えております。

さらに、これらの事業に対して多くの協賛会社様よりご協力を賜り、盛大に実施できたことにも深く感謝申し上げます。

当会が補助を行う太白区小学生バレーボール連盟においては、通年行っている「春季交流会（7 月）」および「秋季交流大会（10 月）」に加え、昨年に引き続き「卒業大会（2 月）」「U10 大会」を開催いたしました。大会運営にご尽力いただいた連盟関係者、チーム指導者、保護者の皆様にも厚く御礼申し上げます。

一方で、運営上の課題も明らかになりました。理事会で決定した内容について、各カテゴリーで柔軟に運営内容を工夫いただくことは歓迎すべきことですが、その際の情報共有が一部滞り、後工程に支障が出る場面がありました。会長からも「決定内容の変更があった場合は必ず役員に共有すべき」との指摘を受けております。こうした状況が続くと、協会全体の意思疎通が図れず、協会運営に支障を来す恐れがあることから、今後は情報共有を徹底し、「風通しの良い協会運営」を目指すことが重要であると考えております。役員の皆様におかれましても、引き続きご理解とご協力をお願い申し上げます。

《今年度の活動方針/活動ポイント》

今年度は、カメイアリーナ仙台的改修工事の影響により、区民祭・選手権大会ともに別会場かつ複数日開催という、これまでにない大会運営体制となります。多くの課題が予想されますが、「皆で考え・皆で行動」をスローガンに、選手に喜ばれる大会づくりと、役員の皆様にとっても達成感のある運営体制の構築を目指します

＜協会運営について（活動ポイント）＞

1. 情報共有の徹底による「風通しの良い協会運営」の推進
2. カメイアリーナ仙台的改修に伴う、他会場・複数日開催の課題整理
3. 「第 2 回バレーボール教室（仮称）」の開催準備と課題対応
4. 令和 8 年度（2026 年度）の大会開催に向けた施設調整会議対応への検討

＜大会運営について（活動ポイント）＞

- 1.「選手ファースト」を基本に、安心・安全で楽しい大会づくり
- 2.昨年度の振り返りを踏まえた、改善を伴う大会運営の推進

以上の方針に基づき、今年度もより良い協会運営を目指してまいります。役員の皆様の引き続きのご支援とご協力を、どうぞよろしくお願い申し上げます。

以上